



2022年6月16日

報道関係者 各位

(公財)世界宗教者平和会議日本委員会

プレスリリース #177

「核兵器禁止条約第1回締約国会議に向けた声明」を政府へ提出 林芳正外務大臣と面会し、声明を手渡す

世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)日本委員会は16日、「核兵器禁止条約第1回締約国会議に向けた声明」([公式ウェブサイト](#)で発表)を日本政府へ提出しました。同委員会の代表として、「ストップ!核依存タスクフォース」メンバーら5人が外務省(東京・千代田区)を訪れ、林芳正外務大臣に面会。声明文を手渡し、日本政府への要望を伝えました。

2日に発表した声明では、同条約の締約国会議が初めて開催されることに対して、「核兵器廃絶への歴史的な前進」と歓迎の意を表明。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に触れ、「核兵器使用のリスクが極度に高まっている」との認識を示し、核抑止政策は「相互の憎悪を増長し、むしろ核使用の危険性を一層高める」ものだと警鐘を鳴らしています。その上で、今回の締約国会議は「核兵器使用を防ぎ、核兵器廃絶への道を大幅に前進するための至極重要な場となる」と期待を示し、関係各国および日本政府に対して5点の要望を表明しました。日本政府には、同条約を署名・批准し、締約国になるなど積極的に貢献することを求めたほか、「非核三原則」を堅持し、核兵器に依存しない平和と安全を構築する政策の検討を求めています。

なお、21~23日に行われる第1回締約国会議に向けて、同タスクフォースメンバーの神谷昌道師(ACRPシニアアドバイザー)や事務局員がオーストリア・ウィーンへ渡航。同会議への参加をはじめ、オーストリア政府主催の「核兵器の非人道性に関する国際会議」やICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)らNGOのサイドイベントにも参加する予定です。

記

日時：6月16日(木)11:40 林芳正外務大臣と面会(於：外務省)

出席者：中村憲一郎(WCRP/RfP日本委員会理事、同ストップ!核依存タスクフォース責任者、
立正佼成会参務)

徳増公明(WCRP/RfP日本委員会理事、日本ムスリム協会前会長)

三鍋裕(WCRP/RfP日本委員会監事、日本聖公会主教)

篠原祥哲(WCRP/RfP日本委員会事務局長)

山越教雄(WCRP/RfP日本委員会事務次長)

以上

※本面会の写真(2ページ目)データが必要な場合は、以下までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

(公財)世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)日本委員会

広報担当：三善(携帯080-2003-2031)、木村(携帯090-2408-7117)



林芳正外務大臣に声明文を提出 ©WCRP日本委員会
右から山越事務次長、三鍋監事、林大臣、中村理事、徳増理事、篠原事務局長



林芳正外務大臣に声明の内容を説明し、日本政府への要望を伝えた ©WCRP日本委員会